

若者支援事業



震災を経験していない若者世代が
主体的に取り組む事業を支援(助成)します

ひょうご安全の日推進県民会議では、阪神・淡路大震災の経験・教訓の継承・活用を図るため、震災を経験していない若者世代が主体的に取り組む防災・減災事業を支援(助成)します。ついでに、下記により該当事業を募集しますので、奮ってご応募ください。

最大15万円
まで助成
※助成率10/10

募集する事業

- 1 **実施グループ**：26歳以下の者が構成員の3/4以上を占める県内のグループ（5人以上）
- 2 **実施内容**：震災の経験・教訓の継承・活用や、防災・減災の重要性の訴求に資する事業（防災活動、防災訓練、イベント等）
※若者主導で行われる事業（クラブ活動・同好会活動等）が対象
- 3 **実施時期**：令和2年4月1日から令和3年3月31日までの間に実施される事業
- 4 **実施場所**：原則として県内で実施される事業
- 5 **申請期限**：事業開始月の前月5日まで
- 6 **申請可能回数**：1グループにつき1回利用いただけます。
- 7 **助成金の額**：最大15万円（千円未満は切り捨て）※助成率10/10

? 備品は対象外?

事業に必要であれば、備品も助成対象になります（タブレット、パソコン、プロジェクター等）。

? 助成金の前払いは可能?

全額前払いが可能です。

申請書類・手引き等はこちら >>>

ひょうご安全の日推進事業助成金

検索



お問い合わせ先

(注意) 本チラシは事業の概要を記載していますので、申請される場合には、必ず、「ひょうご安全の日推進事業令和2年度助成事業の手引き」をお読みください。

【ひょうご安全の日推進県民会議事務局】〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1（兵庫県復興支援課内）
TEL(078)362-9984 FAX(078)362-4459

ひょうご安全の日推進県民会議



対象事業イメージ

「若者支援事業」の対象事業の参考として、令和元年度にモデル的に実施した「若者キャンペーンプロジェクト」実施グループの取組みをご紹介します

阪神・淡路大震災と丹波市市島町豪雨災害を
教訓とした防災教育活動
兵庫県立柏原高等学校インターアクト部

【取組内容】

防災紙芝居による啓発活動
被災地区でのハザードマップ更新支援



備蓄をもっと身近に！プロジェクト
～家庭での食料備蓄に関する教材の開発・普及～
神戸学院大学 防災女子

【取組内容】

体験型防災教育教材の開発・普及

高校生による学科間・産学・高大連携事業
～災害食で地域活性化Project～
災害食で地域活性化Project team

【取組内容】

災害食（パンの缶詰）の製造・普及
ローリングストックの仕組みづくり



体験型防災イベントブース
「KUIS BOSAI 国際防災教材研究会」
KUIS BOSAI

【取組内容】

防災啓発ブース出展
応急手当普及講習用の多言語テキスト制作

「若者キャンペーンプロジェクト」実施グループ取組みの詳細はこちらでも公表しています>>>

